



柏原中だより

平成31年3月 年度末特別号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 250名

<学校教育目標> 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

1年間 ありがとうございました ～皆様への感謝～

校長 井堀広幸

平成30年度も、終わりを迎えようとしています。保護者の皆様、地域の皆様、その他、関係諸機関の皆様、今年度1年間、本校の教育についてご理解いただき、いろいろな場面で、ご支援、ご協力を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。間もなく、新年度が始まりますが、今後とも相変わらぬご支援をいただけますよう、切にお願い申し上げます。

第37回卒業証書授与式 ～厳粛にして力強い素晴らしい式～<3月15日(金)>

本校の第37回卒業証書授与式を、3月15日に挙行了しました。

当日の朝は、少し冷え込んだものの、昼にかけてどんどん気温も上がり、暖かな日和になりました。厳粛な雰囲気の中で式が始まり、ご臨席いただいた27名のご来賓と、大勢の卒業生の保護者が見守る中、式が進行していきました。卒業生は、幸い1人の欠席者もなく、全員壇上で卒業証書を受け取ることができました。

教育委員会の告辞では、「素直な心や謙虚さ、感謝の気持ちを忘れずに、自分の持ち味を生かして、夢の実現に向けて、力強く歩いてください。」と、また、本校PTA会長からの祝辞では、「本校の教育目標に『今を精いっぱい生きる』とあるように、納得がいくよう一瞬一瞬を一生懸命生きてください。」と、さらに、市長からのメッセージでは、「これまで育ててきた友情と数々の思い出を、人生のかけがえのない宝として胸に刻み、夢と希望をもって、何事にも前向きにチャレンジしていただきたい。」と、それぞれ、卒業生への温かい激励の言葉をいただきました。

また、卒業生を送る言葉では、生徒会長の〇〇〇〇さん(2年)が、3年生に抱(いだ)いていた憧れや、仲間を大切にする3年生への尊敬の念を述べた後、「私たちも先輩方のような先輩になれるように頑張ります。そして、さらに思いやりのあふれる柏原中学校を目指していきます。」と誓いを述べて送る言葉としたのに対し、前生徒会長の〇〇〇〇くんが、卒業生・別れの言葉の中で、「別れの言葉をしめくくるにあたり、在校生にお願いがあります。3年生を送る会での『仲良くやれよ』のメッセージを心の隅においてほしいという願いです。皆さんにも『仲良く』という考えを大切に、残りの中学校生活を過ごしてほしいのです。」と、在校生に願いを託して言葉をしめくくりました。

卒業の歌では、『ふるさとの四季』の童謡のメドレー、『旅立ちの日に』は圧巻の合唱で、流石(さすが)3年生だと、涙なくしては聴けませんでした。全校合唱の『信じる』では、全校の歌声が体育館いっぱいに響き渡り、素晴らしい合唱でした。体育館にお集まりいただいたいろいろな方々のお蔭で、立派な式ができました。ありがとうございました。



卒業証書授与



卒業生を送る言葉



卒業生別れの言葉



卒業の歌(卒業生)

おめでとう! 柏原中生、活躍しています!

2019 AMBITIOUS CUP 3月17日(日)

準優勝 柏原中学校 女子バスケットボール部

敢闘賞 柏原中学校 男子バスケットボール部



※ 卒業式で述べた、校長式辞を掲載します。

式 辞

校庭の桜の蕾もふくらみ、正に春爛漫の季節を迎えようとしている今日のよき日、本日は、狭山市教育委員会、橋本秀樹委員様、狭山市議会議員、磯野和夫様、内藤光雄様、笹本英輔様を始め、本校を支えていただいている、多くのご来賓、そして保護者の皆さまのご臨席のもと、狭山市立柏原中学校 第37回卒業証書授与式が、斯くも晴れやかに挙行できますことを、たいへん喜ばしく思います。心よりお礼申し上げます。

90名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、柏原中の最高学年として、その責任を立派に果たし、在校生に受け継いでくれました。何よりも皆さんが真っ直ぐ成長し、三年間の集大成として、今、ここに有終の美を飾ろうと、立派な姿で臨んでいることを、この上ない喜びとして感じています。

クラスで活動するときは、クラスでまとまり、学年で活動するときは、クラスの垣根を取り払ってみんなで仲良しになれる、和気藹々とした学年でした。そして、何にでも一生懸命取り組んで、いいものを創りあげようという心意気にあふれた学年でした。学校総合体育大会、体育祭は、勝ち負けよりも、やり遂げた充実した笑顔が印象的でした。宿泊学習・修学旅行、音楽会、そして受験、持ち前の仲の良さで心と心を支え合いながら、粘り強く協力できました。こうした皆さんの様々な足跡は、最高学年としての集大成であります。行事に限らず、普段過ごした毎日の、何気ないことも、今となっては皆さんの大切な思い出として心に焼き付いていることと思います。その思い出は、私たち教職員にとっても大切に貴重な宝物です。校長面接のときに、緊張する中で見せた、皆さんの笑顔が、私は忘れられません。これまでこの柏原中で、私たち教職員に、たくさんの思い出と感動を与えてくれて、ありがとうございました。

日本では自然災害が続き、まだ不便な生活を余儀なくされている方がいらっしゃいます。そして、復興に向けて、多くの方が日夜努力しています。つらいことがあっても前向きに生き、困っている人がいたら救いの手を差し伸べられる、日本の心意気を忘れないでください。卒業生全員の、これからの更なる飛躍を期待しています。

保護者の皆さま、本日はお子様の晴れの姿を、心からお祝い申し上げます。また、これまで、生徒たちのために、ご支援・ご協力を賜り、感謝申し上げます。お子様がさらに、それぞれの道で活躍されることを、切にご期待申し上げます。

結びに、ご臨席くださいました、ご来賓、保護者・地域の皆さま方に、引き続き柏原中へのご支援をお願い申し上げますと共に、卒業生90名の限りない前途を祝して、式辞といたします。

平成31年3月15日

狭山市立柏原中学校長 井堀広幸